

奈良文化財研究所 本庁舎建替事業



独立行政法人 国立文化財機構
奈良文化財研究所



奈良文化財研究所本庁舎建替計画の概要

1. 奈良文化財研究所 本庁舎の経歴

昭和39年 奈良県立病院として建築
昭和52・53年 奈良県立病院の移転に伴い国が購入
昭和53・54年 改装工事
昭和55年4月 奈良文化財研究所が春日野庁舎より移転(現在に至る)

2. 計画概要

現庁舎は、築約50年を経過し、老朽劣化が著しく、また、貴重な資料、図書等の増加による狭隘化も深刻な状況にあり、調査研究に支障をきたしています。さらに、耐震診断を実施した結果、本建物は倒壊等の危険性があると判定されています。これらの問題の解決を目的として、今回の計画を進めることとなりました。

3. 仮設庁舎

現庁舎を解体撤去した後、新庁舎の建設工事が終了するまで、約2か年を予定しています。この間、研究所の業務を継続するために、平城宮跡内に仮設庁舎を設置する計画です。

4. 埋蔵文化財調査

仮設庁舎の建設にあたっては、地下遺構の保存に影響が無いようにします。新庁舎予定地については、現庁舎地下部分の撤去と並行して埋蔵文化財調査を実施します。

5. 新庁舎

新庁舎は、地下1階地上4階建てとし、平成25年度に設計を行います。

6. 事業費

事業費総額は、約6,000百万円
平成25年度計画予算額 2,531百万円
(平成24年度 20百万円 設計費の一部)

計画目標

地域に根ざした総合的かつ先進的文化財研究の拠点整備

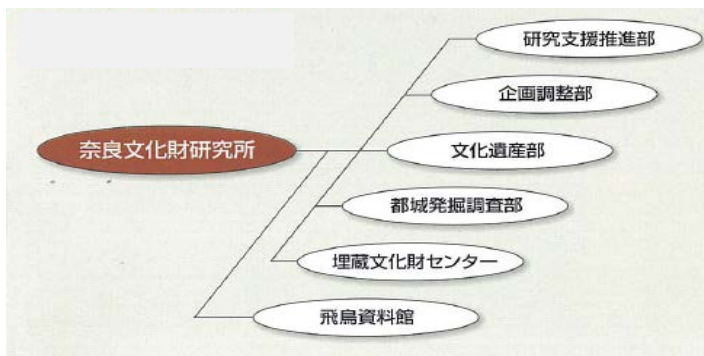
- ☆ 国内外に開かれた、我が国の文化財研究をリードする
総合的かつ先進的文化財研究の拠点
- ☆ 企業・大学・研究機関等との施設の相互利用等を可能とし、
より多くの研究成果を生み出す効率的な研究拠点
- ☆ 災害に強く、自然エネルギーを活用した、
人にやさしい地域の拠点公共施設

奈良文化財研究所は、文化財の宝庫奈良の地で、多彩な専門分野の研究者が実物に即した文化財の総合研究をおこない、その研究成果を文化財の保護行政に役立てることを目的に設立されました。昨年、研究所は創立60周年の節目を迎え、これまでに集積した知識や技術を海外の文化財の保護と修復に役立てる国際支援事業の機会も増え、文化財をめぐる諸外国との共同研究や学術交流も活発化しています。今後さらに、文化財の学際的、総合的な調査研究を通して、日本文化の形成過程や特質を明らかにし、国内外に我が国の歴史と伝統文化の素晴らしさを発信していきたいと考えています。

奈良文化財研究所概要 事業内容



研究所の組織



計画の概要 1

計画概念

- ☆ 建物施設の安全性能の確保と防災対策の強化を図る
- ☆ 建物施設性能劣化（老朽化）による調査研究環境への支障の抜本的改善を図る
- ☆ 重要文化財等の貴重な収集資料、精密な研究機器、30万冊に及ぶ研究用図書等の保管場所・環境確保を図る
- ☆ アジアを中心とした諸外国の研究機関との研究交流、情報発信等を行う拠点としての機能充実を図る

計画概要

- 現庁舎は、築後約50年を経過し、老朽劣化が著しく、また、図書や研究資料の増加によって手狭となり、調査研究に支障を来す状況にあります。さらに耐震診断の結果、近い将来に発生が予想されている大規模地震に対しては、倒壊等の危険性があると判定されています。
これらの問題を解決するために、今回、建物の建て替えを計画しています。計画は、現庁舎の敷地での建て替え工事を予定しています。建て替え工事期間中に、奈良文化財研究所の業務を継続するために、仮設庁舎を設置します。その後、現庁舎の取壊しと埋蔵文化財の発掘調査を行い、新庁舎の建設を行う計画としています。
- 現庁舎の経歴について
現庁舎は、昭和39年県立奈良病院として建設、病院の移転後、昭和55年から奈良文化財研究所の本庁舎となっています。
- 新庁舎の構造・規模は、
鉄筋コンクリート造 地上4階建て（地下1階）
総床面積 約10,000㎡
平成25年度に設計
- 仮設庁舎の構造・規模は、
プレハブ 地上2階建て 2棟
総床面積 約5,000㎡

建築コンセプト

安全かつ堅牢、安心感をもつ施設
建築の中に息づく文化財のイメージ
文化財研究所としての機能性
周辺地域に愛される施設

旧庁舎(現仏教美術資料研究センター)



現庁舎

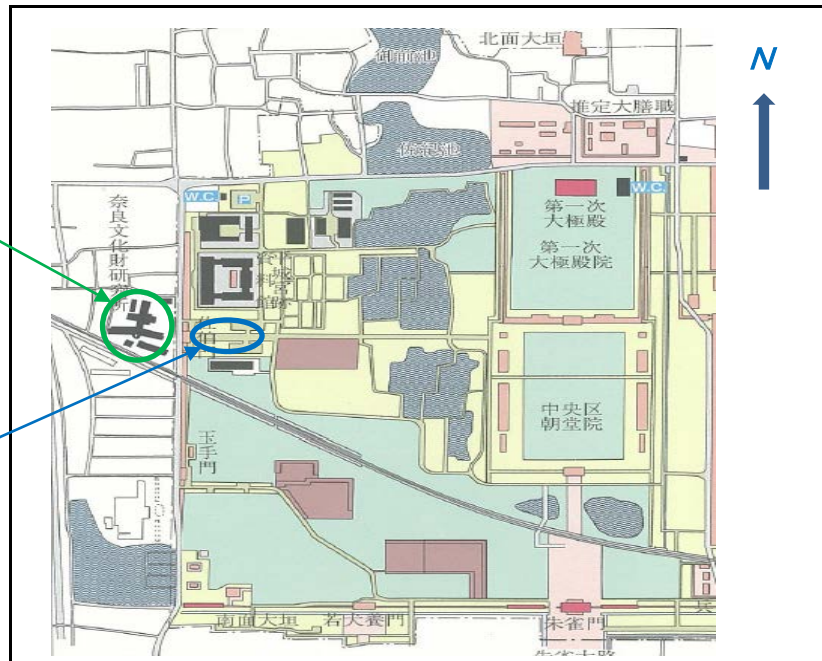


計画の概要 2

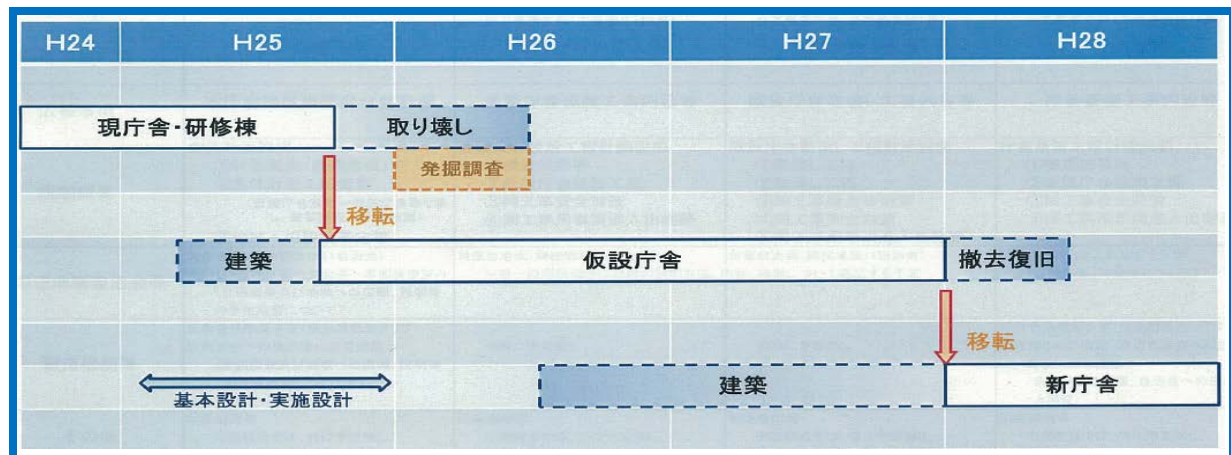
建替計画配置図

新庁舎建設場所

仮設庁舎設置場所



建替事業のスケジュールについて(予定)



- ① 平成25年8月 仮設庁舎の設置工事着工(平成25年11月末頃完成予定)
- ② 平成26年1月 現庁舎の取壊し工事着工(地上部分取壊の後、発掘調査予定、取壊し完了は秋頃)
- ③ 平成26年秋頃 新庁舎着工(平成27年度末頃完成予定)

建替事業をすすめるにあたって

安全及び環境の確保について万全を期し、事業を進めてまいります。

- 各工事の安全な施工と、第三者への安全確保
- 周辺的生活環境への影響に配慮

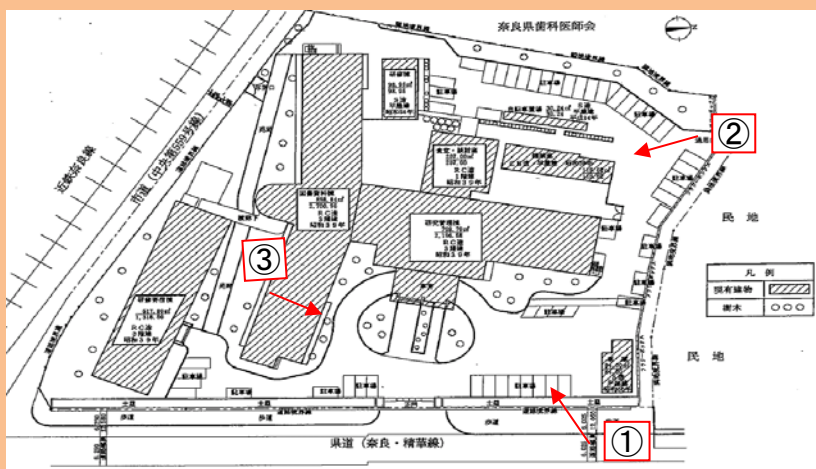
本事業について、広くご理解いただくために、奈良文化財研究所の役割や本事業の目的、事業の進捗状況などの情報を随時発信してまいります。



①外観全景 東面(正面)



②外観全景 西面(背面)



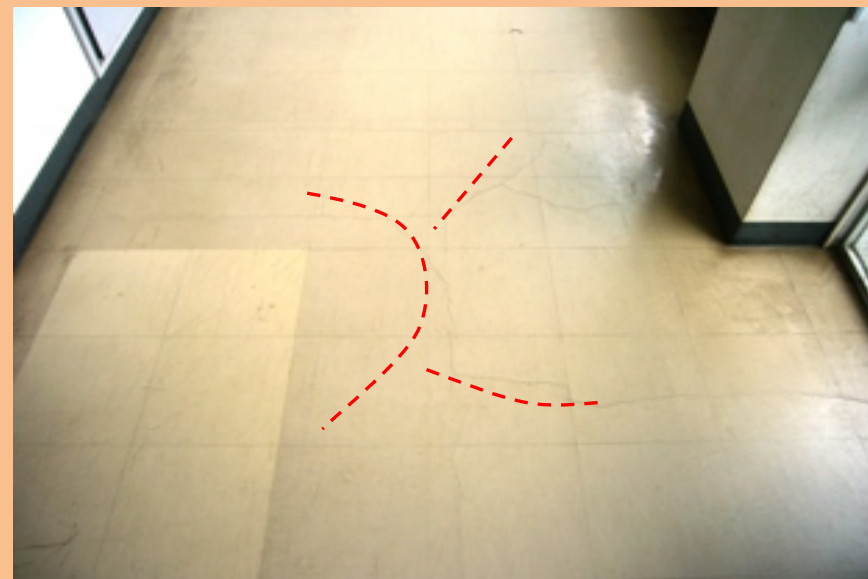
建物配置図



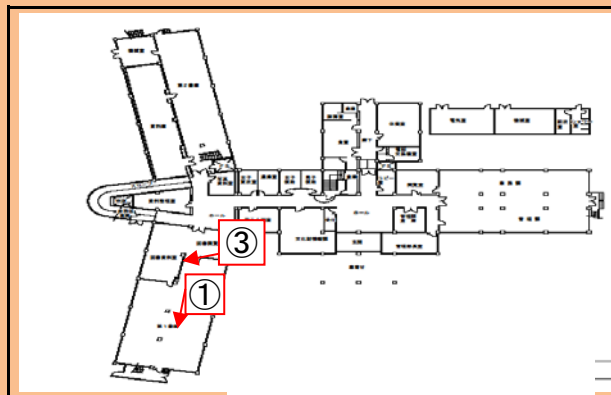
③劣化状況一例写真(屋上手すり)



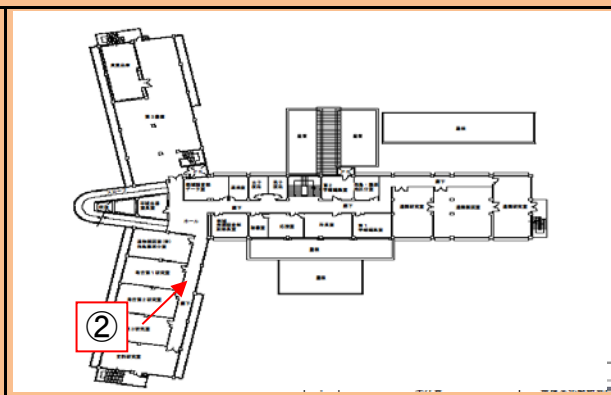
①建物内部 床クラック



②建物内部 床クラック



1階平面図



2階平面図



③建物内部 壁クラック